

白山青年の家・白山ろく少年自然の家の令和4年度管理状況

様式 1

施設所管課	教育委員会生涯学習課
施設管理者	一般財団法人白山市地域振興公社 理事長 北村 潔
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
中期経営目標 (R4～R8)	・ 白山青年の家 ①利用者数を5年間で7%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。 ・ 白山ろく少年自然の家 ①利用者数を5年間で4%増加させます。 ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	【共通】 施設の使用受付・案内等の接遇向上 ・ 職員接遇研修会の実施（年1回） 職員の資質向上 ・ 石川県青少年教育施設協議会主催の資質向上研修会の受講（書面開催） 利用者の苦情・意見の把握・対応 ・ 利用団体アンケートの実施（白山青年の家 56件、白山ろく少年自然の家 97件） 自主事業等の企画・実施 【白山青年の家】 全国研修会（全青少年教育施設所長会議）出席 自主事業の実施 ・ 地域交流事業「さとやまサロン」（6回79人参加） いしかわ子ども自然学校の開催（19プログラム456人参加） ・ 「SDGsエコキャンプ」を実施し、SDGsについて学習 その他 ・ 敷地内樹木伐採による利用スペースの安全確保 ・ 舟岡山の清掃活動（遊歩道の整備）を実施し 【白山ろく少年自然の家】 自主事業の実施 ・ 「ジオツアーズ」を実施（3回75人参加） ・ 小学校への事前出前講座の実施（47団体3,192人受講） いしかわ子ども自然学校の開催（20プログラム442人参加）
② 広報活動	施設の情報提供、広報、広告 ・ ホームページの利用拡充（パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットからも利用可能。プライバシーポリシーを公開） ・ 白山市の広報や地域の情報誌にイベント情報を継続的に掲載 ・ チラシを作成し、学校、公民館等を訪問し、施設利用をPR。 ・ プログラム参加経験者への情報提供

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
【白山青年の家】 ・施設及び地域の特徴を生かした教育への支援（キャンプ体験をベースとした活動プログラムの充実） ・教育ニーズに対応したプログラムの提供（白山手取川ジオパークを生かした活動プログラムの開発） ・PR・情報発信の強化（予定プログラムのWeb掲載、白山市広報誌等への掲載） 【白山ろく少年自然の家】 ・安全・安心な施設運営（危機管理マニュアルの改善・避難訓練・職員研修の充実） ・潤いのある学びの環境づくり（Wi-Fiを活かした学びが広がる場づくり） ・利用者の声をいかしたサービスの充実（利用者のアンケート結果をもとに、計画、改善点にいかす） ・利活用の促進（魅力あるプログラム開発と指導改善、積極的な広報・周知）

2 中期経営目標の進捗状況

白山青年の家

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	20,772人	2,877人	4,483人	8,329人	185.8%	40.1%	22,250人
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス（%）	99.0	94.2	91.0	100.0	9.0ポイント	1.0ポイント	95.0
施設の維持管理（%）	99.5	100.0	94.0	91.1	-2.90ポイント	-8.40ポイント	95.0

白山ろく少年自然の家

測定指標	H29～R1 年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R8年度 (目標値)
(1) 利用者数（人）	17,105人	6,520人	6,861人	11,423人	166.5%	66.8%	17,800人
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス（%）	99.7	100.0	92.6	100.0	7.40ポイント	.30ポイント	95.0
施設の維持管理（%）	97.1	100.0	72.2	94.5	22.30ポイント	-2.60ポイント	95.0

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

白山青年の家

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	依然として、新型コロナウイルスの影響が残っていたものの、受入団体との事前打合せ等で青年の家での感染対策を丁寧に説明し、利用者の安心感が高まるように努めた。これにより、コロナ禍であっても、現実的な活動制限を設けた活動プログラムを実施する入所団体が増加した。	左記のような運営努力を行っていたものの、利用者数の半数制限、調理を伴う活動や、感染対策が難しい活動の中止などを実施しせざるを得ない状況であった。これらの対策は、利用者数・部屋稼働率に直接関与するため、対基準値に届かない状態となった。

白山ろく少年自然の家

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	・サービスの向上として利用予約システムをオンライン化した為、受付業務がスムーズになり、利用者にとっても申し込みやすくなったことによる。 ・トイレ洋式改修工事により施設内が整備されたことによる。 ・学校利用団体に向けて自然体験活動の重要性について校長会議、指導者養成講習会、出前授業等でPR活動をしたことによる。	利用促進に向けて、プログラムの開発、PR活動等を行ってきたが、コロナの影響から、まだ団体での活動行事として利用することへの抵抗があり、申し込みが少なく、基準値に達してない。

白山青年の家

<利用者アンケート結果（通年実施 サービス：有効回答数 49件、施設：有効回答数 51件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	75.5	24.5	0.0	0.0
施設の維持管理 (%)	80.4	19.6	0.0	0.0

白山ろく少年自然の家

<利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数 97件）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	78.3	21.7	0.0	0.0
施設の維持管理 (%)	49.5	45.1	5.4	0.0

3 施設等の維持管理

白山青年の家

項 目	実施内容
(1) 清掃	・日常清掃（宿泊部屋、研修室、食堂、トイレ、浴室、体育館等）随時 ・定期清掃（廊下、研修室、食堂、体育館等の洗浄とワックス掛け）年3回業者委託
(2) 設備保守点検	・電気設備保守年6回、消防設備保守年2回、昇降機設備保守年4回、貯水槽清掃年1回、ボイラー保守年1回、地下タンク検査3年に1回
(3) 植栽維持管理	・敷地内の専門業者による樹木剪定及び伐採年1回 ・道路、駐車場、グラウンド等の除草は適宜
(4) 警備	・施設内及び敷地内周辺の職員による施錠と見回りは毎日
(5) 小規模修繕	・ガス給湯器、公用車、草刈り機、非常照明、空調機、厨房冷凍庫等の修繕

白山ろく少年自然の家

項 目	実施内容
(1) 清掃	・ 日常清掃（床清掃、ゴミ処理等）：毎日1回～2回 ・ 定期清掃（廊下等の床洗浄、ワックス掛け）：年3回
(2) 設備保守点検	・ 電気設備：年6回 ・ 消防設備：年2回 ・ 給排水衛生設備：年1回 ・ 積雪期の降雪量：降雪時適時
(3) 植栽維持管理	・ 日常業務として適時 ・ 敷地内の樹木の剪定：適時 ・ 花壇の整備：適時 ・ 下草刈り：適時 ・ 芝生広場の刈り込み：適時
(4) 警備	・ 施設全体の警備（常駐、夜間警備、巡回警備等）及び駐車場管理を毎日実施
(5) 小規模修繕	・ 野外トイレ(和式)修繕・厨房分電盤取替工事・差動式スポット型感知器取替工事・浄化槽ブローア取替工事・消火栓補給水槽給水バルブ等取替工事・水道配管工事

4 管理運営体制

項 目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	・ 新型コロナウイルス感染症に対する危機管理として、宿泊施設に関する業界団体ガイドライン等に基づいて対応 ・ 緊急連絡網、危機管理マニュアル、消防計画等の見直し ・ 活動場所の安全確認を定期的かつ必要に応じて随時実施 ・ 避難訓練の実施 白山青年の家 年1回実施（消防訓練 5月） 白山ろく少年自然の家 年2回実施（消防訓練 7/17、10/12）
(2) 個人情報の管理状況	・ 基本協定（個人情報の取扱いに係る特記事項）に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項 目	許可件数	不許可件数	不許可理由
白山青年の家	148	0	
白山ろく少年自然の家	140	0	
合 計	288	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

白山青年の家

（単位：千円）

項 目	収入額	減免額	減免理由
宿泊料	1,326		
食事料	4,224		
冷暖房料	184		
合 計	5,734	0	

白山ろく少年自然の家

（単位：千円）

項 目	収入額	減免額	減免理由
食事料	8,703		
寝具料	931		
暖房・スキー用具料等	255		
合 計	9,889	0	

(3) 収支決算

白山青年の家

（単位：千円）

収 入		支 出	
指定管理料	37,636	人件費	24,279
利用料収入	5,734	光熱水費	5,917
その他	1,166	修繕費	1,388
		その他	14,822
合 計 ①	44,536	合 計 ②	46,406
収支差額 ①－②	-1,870		

白山ろく少年自然の家

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	36,222	人件費	29,390
利用料収入	9,889	光熱水費	3,497
その他	2,422	修繕費	2,210
		その他	16,202
合 計 ①	48,533	合 計 ②	51,299
収支差額 ①－②	-2,766		

6 利用者からの意見、苦情、要望

白山青年の家

年 月	内 容	対 応
令和４年８月	自動販売機が撤去されていて困った。	ホームページや予約受付時に自販機がないことを伝え周知している。
令和４年８月	エアコンの温度設定を各部屋で変えられなかった。	電気代節約やSDGsの観点から理解と協力を求めた。
令和４年８月	プロジェクターの規格が合わない（HDMI端子が使用できなかった。）	HDMI端子を使用できるように対応済み

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	・白山青年の家では、地域人材を生かした自主事業「さとやまサロン」を開催し、地域と連携したプログラム作りに努めている。 ・白山ろく少年自然家では、白山市が進めるジオパーク事業と連動して四季折々の自然体験プログラムを開催し、プログラムの充実に努めている。 ・小学校を対象とした合宿事前指導の出前授業は、小学校から好評であり、仕様書等に定める水準以上のサービス向上へ向けた取組である。 ・学校・公民館を訪問して直接施設のPRを行うとともに、ホームページを随時更新して、イベントや体験プログラムなどの情報を発信し、利用者増に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	・利用者の快適性や安全性を考慮し、施設の修繕等に積極的に対応している。 ・施設内は常に清潔に保たれており、適切な管理が行われている。また、様々なコロナ対策が施されており、利用者の目線での対応がなされている。 ・多くの施設を運営する指定管理者のスケールメリットを活かし、物品の共同購入や保守点検の一括した業務委託をすることで、経費の削減に努めている。
(3) 管理運営体制	B	・教育施設としての機能が発揮できる、適切な職員の配置がなされている。 ・緊急時の連絡体制や消防計画などが定められ、消防訓練を実施するなど安全対策が適切である。 ・大学生等のボランティアを積極的に受入れ、きめ細やかな指導ができる体制を整えている。
総合評価	B	・仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、利用者満足度の高いサービスの提供に積極的である。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--